

(返済不要・給付型奨学金のご案内)

ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2024【応募要項】

一般財団法人教育支援グローバル基金は、社会のために活躍する人材になるべく進学を目指す若者を応援する「ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2024」への応募を募ります。様々な事情で社会的・経済的に困難な状況にある若者を対象とし、財政的な支援だけでなく、人材育成プログラムへの参加機会の提供を通じて、他者に共感する力をはぐくみ、社会に力を添える人材を輩出することを目的としています。仲間との対話や、各界で活躍するリーダーたちとの交流を通じ、視野を大きく広げ、社会に力を添える人材の輩出を狙う本プログラムに、ぜひ奮ってご応募ください。

【主催】 一般財団法人教育支援グローバル基金

【プログラムの内容】

1. 奨学金支給：大学・短大・各種専修学校進学のための、年間 50 万円の返済不要・給付型奨学金を支給
2. 人材育成プログラム：国内外でのプログラムを通し、各界で活躍するリーダーとの対話や、困難を経験しながらも社会に力を添えることを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行う。

＜これまでの人材育成プログラムの例＞

- ・ オンラインプログラム
- ・ 国内研修
 - オリエンテーション・プログラム（毎年 3 月開催 3 泊 4 日・東京）
 - サマー・キャンプ 2023（毎年夏開催 3 泊 4 日・東京）
 - ジャパン未来リーダーズサミット（毎年秋開催 2 泊 3 日・東京）

・ 海外研修

米国スプリングプログラム（2023 年 2 月開催 6 泊 8 日・米国ハワイ州）

※各種人材育成プログラムの詳細は当財団のウェブサイトでご覧いただけます。

※プログラム参加に係る費用は主催者が負担します（遠方からの参加者は交通費を財団規程に基づいて支給）。

※新型コロナウイルスの状況、当財団の財政状況を考慮しながら開催の有無や開催方法を判断しますので、上記のプログラムが例年通り開催できない可能性があります。

※ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラシップ・プログラムは、人材育成プログラムと奨学金支給の両方から成る、1 年間の包括的なプログラムです（人材育成プログラムへの参加が不十分の場合は奨学金支給を停止します）。

【応募資格】

下記条件を全て満たすこと。

- 1 2024 年 3 月までに高校を卒業、または高等学校卒業程度認定試験に合格する予定であること。
- 2 2024 年 4 月～2024 年 3 月に新たに大学・短大・各種専修学校に進学予定であること。
 - ※学校教育法に基づいて設置された大学・短大・専修学校が対象となります
 - ※進学先が通信教育課程の場合は対象外となります。
 - ※5 年制の高専在籍者は、2024 年 4 月に 4 年生に進級する場合を対象とします。
- 3 下記の一つ以上に該当すること。
 1. 親が死亡。
 2. 単親家庭である（母子家庭、父子家庭など）。
 3. 児童養護施設などの児童福祉施設・社会的養護の施設に暮らしている。
 4. 里親家庭に暮らしている。
 5. 生活保護受給世帯に暮らしている。
- 4 年間を通じて開催されるプログラムに参加する意志があり、プログラム参加に際し健康上の支障がないこと。
- 5 2024 年 3 月に開催予定のオリエンテーション・プログラムへの参加を確約できること。
- 6 オンラインプログラムに参加するための安定したインターネット環境を自身の責任で準備できること。

※最終合格者には、上記に該当することを証明する公的書類を提出いただきます。書類内容を確認の上、上記条件に合致することが認められない場合には、合格を取り消します。また、合格した場合でも、後日、申告内容に虚偽や事実と異なることが認められた場合には、プログラムから除外となる他、既に支給した奨学金の返金を求めることがあります。

最終合格者が提出を求められる書類（応募時点では提出の必要はありません）

1. 保護者が死亡。	戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）
2. 単親家庭である（母子家庭、父子家庭など）。	戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）
3. 児童養護施設などの児童福祉施設・社会的養護の施設に暮らしている。	施設長の発行する在籍証明書
4. 里親家庭に暮らしている。	里親委託証明書（児童委託証明書）
5. 生活保護受給世帯に暮らしている。	生活保護受給証明書

※「1. 親が死亡」のみ該当する方には、保護者が亡くなっている事実の記載がある戸籍全部事項証明書または除籍全部事項証明書を提出いただきます。

【応募の流れ】 選考は、以下のスケジュールで行います。

2023年9月15日（金）	応募受付開始
2023年11月2日（木）	応募締切（必着）
2023年12月1日（金）	一次選考合格者への面接案内送付（合格者及び合格者の推薦状を記入した学校長宛てに通知します。不合格者には通知をいたしません）
2023年12月23日（土） or 2023年12月24日（日）	二次選考 会場：東京 ※遠方からの受験者には面接会場までの交通費補助を規程に基づき支給します。 ※感染症拡大状況によりオンライン開催に切り替える可能性があります。
2024年1月 後半	最終合格者発表（二次選考受験者全員に可否を通知します）

※合格者は、2024年3月に開催されるオリエンテーション・プログラムへの参加が義務づけられています。いかなる理由があっても、オリエンテーション・プログラムに参加ができない方は、応募できません。

※プログラム参加に係る費用は主催者が負担します（遠方からの参加者は交通費を財団規程に基づいて支給）。

【選考方法】

1次選考：書類審査

2次選考：面接（遠方からの受験者には交通費補助を規程に基づき支給します。詳細は1次選考合格者に通知）

【2次選考会場】

東京 12月23日（土）	・詳細は1次選考合格者に通知します。 ・感染症拡大状況により開催をオンライン開催に切り替える可能性があります。
-----------------	--

【応募方法】

下記の書類の全てを、締切までに提出すること。応募書類は返却しません。

- 1 応募用紙（指定応募用紙に必要事項を記入のこと）
- 2 課題作文（応募用紙の指定の通りに課題作文を作成し同封すること）
- 3 学校長からの推薦状（学校長により厳封のこと。現在、高校に在籍していない者については、卒業校からの卒業証明書または、高等学校卒業程度認定試験合格証明書を代わりに提出のこと）

【応募開始・締切】2023年9月15日受付開始、11月2日（木）締切（必着）

【送付先】応募書類の送付先は、以下の通りです。（切り取って郵送先のラベルとして使用してください）

※郵便局留のため、宅急便では受取ができません。必ず郵便でお送りください。

※応募期間中のみ開設している受付窓口です。受付期間を過ぎた郵送物は10日後に返送されます。

※遅配・不達等の郵便事故の責任は負いかねますのでご了承ください。

キリトリ

〒150-8681 東京都渋谷区渋谷1-12-13
渋谷郵便局留

一般財団法人教育支援グローバル基金
「ジャパン未来スカラシップ・プログラム2024係」 行

※局留め郵便のため、宅急便での送付はできません※

ビヨンドトゥモローの学生たち

様々なバックグラウンドを持つ学生たちが日本全国から集い、自分の役割を探し続けています。



“仲間と切磋琢磨する面白さを感じることができました”

菅野さん（仮名） J大学国際関係学部（U学院高等学校卒業）

ビヨンドトゥモローでの1年間の活動はとても充実していました。各プログラムでのディスカッションやゲストスピーカーの方々との対話が特に印象に残っています。また、年間を通して、仲間との対話を通して共に成長していく時間はとても有意義でした。ビヨンドトゥモローに参加したことで、自分自身と向き合うことの意味を改めて学ぶことができました。ただ自分の欠点を悲観するのではなく、今の自分と目標をどのように繋げるかを学んだり、誰かと一緒に共通のゴールを目指して切磋琢磨する面白さを感じることができました



“将来は舞台俳優として社会課題に関する舞台をやりたい”

村田さん（仮名） T大学芸術学部（東京都立K高等学校卒業）

私は里親家庭で幼少期から育っており、似た境遇の同世代の方と関わる事がなく、境遇の事で悩み苦しんでいるのは自分だけだと思い、孤独感を感じていました。しかし、ビヨンドトゥモローでは似た境遇で育った仲間がいるという事を実感でき、皆も未来を向いて頑張っているのだから自分も未来を見て頑張らなきゃいけないと感じ、前を見ることが出来ました。対面プログラムでは、自分のアイデアが提言に活かされ、この境遇だからこそのわかる気持ち、立てる視点があることに気づきました。将来は舞台俳優になり、自らの経験を活かせる舞台をすることが夢です。そしてそれによって、私たちの様な社会的養護出身者や似た境遇の者たちが特別視されない社会に少しでも近づける事が出来るようにしたいと思っています。



“「自分を好きになれたこと」、それが僕にとって最大の収穫”

大野さん（仮名） G大学教育学部（東京都立B高等学校卒業）

父の母親に対する暴力に苦しみ、経済的に楽ではない生活の中で、自分が他の人よりどこか劣っているような感覚がありました。しかし、劣っているという考えは間違いで、むしろ逆境を経験したことこそが、他の人にはないアイデンティティなのだと、ビヨンドトゥモローに参加して気づきました。その気づきは、自分の大きな原動力になっています。将来は小学校教員となり、学ぶことの面白さを伝えていくとともに、自らの経験を活かし、児童の支えになりたいです。



ビヨンドトゥモローは大切に大好きな“居場所”

丸山さん（仮名） M大学法科大学院（Q大学法学部卒業）

帰る家がない私にとって、ビヨンドトゥモローは大切に大好きな“居場所”です。過去のプログラムや仲間たちとの交流を通して、目を背けていた自らの過去を見つめ、自分自身とことん向き合うことができました。自分に対してこんなに徹底的に真面目になることができるんだな、と初めて知りました。ビヨンドと出会っていなければきっと今の私はいませんし、ビヨンドに参加している時の自分が1番自分らしいと感じます。楽しくて、少し苦しくて、でもその分成長できる、そんな場所です。一生の財産であるビヨンドでの経験と出会いが、今、夢を追いかけている私の原動力になっています。

よくあるご質問（FAQ）

Q 奨学金の支給は1年間のみなのですか。

A 本プログラムは、1年間のプログラムです。2年目以降は奨学金の支給はありませんが、別途様々なプログラム参加の機会やキャリアサポートを受ける制度へ応募することができるようになっています（2023年度時点。今後変更の可能性あり）

Q 他の奨学金を受給予定ですが、併用に際しての条件や制約はありますか。

A 他の奨学金との併用について、当財団は条件や制約を設けていませんので、併用が可能です。

Q 応募書類を送付する際は、学校でとりまとめる必要がありますか。

A 応募者本人が個別に送っても、学校でとりまとめてもいずれでも構いません。学校の教職員の方の手違いによる書類不備や締切後の送付が過去に発生していますのでご注意ください。

Q 保護者の署名は応募用紙に絶対に必要ですか。

A 応募時点で応募者が未成年である場合、親権者、家庭裁判所に指定された未成年後見人、児童福祉法により一部権限を付与された者（都道府県知事より委託を受けた児童養護施設の施設長や里親など）、のいずれかの署名が必要です。

Q 現在、高校に在籍していないのですが、応募できますか。

A 応募できます。既卒者の場合、学校長からの推薦状の代わりに、卒業高等学校からの卒業証明書を提出してください。高等学校卒業程度認定試験合格者は、学校長からの推薦状の代わりに、高等学校卒業程度認定試験合格証明書を提出してください。

一般財団法人 教育支援グローバル基金およびビヨンドトゥモローについて

一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす「ビヨンドトゥモロー」の運営を行っている非営利の財団法人です。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う資質を持ちながらも、社会経済的に困難な状況にある若者たちを対象とした奨学金支給及び人材育成プログラムの開催を通し、広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出をめざしています。

理事	橋本 大二郎（代表理事）	元高知県知事
	小林 正忠	楽天グループ株式会社 常務執行役員 チーフウエルビーイングオフィサー
	木山 啓子	特定非営利活動法人ジェン（JEN）理事・事務局長
	本庄 竜介	グリーンコア株式会社 代表取締役
	村瀬 悟	メイヤー・ブラウン法律事務所 弁護士
評議員	塩崎 恭久	前衆議院議員、一般財団法人勁草日本イニシアティブ代表理事
	宮城 治男	NPO 法人 ETIC 創業者
	小宮山 利恵子	スタディサプリ教育AI研究所所長
アドバイザー	阿川 尚之	慶應義塾大学 名誉教授・同志社大学 教授
	竹中 平蔵	慶應義塾大学 名誉教授
	櫻井 本篤	前ジャパンソサエティーNY 理事長
監事	上滝 賢二	元日本放送協会理事

【問い合わせ先】一般財団法人教育支援グローバル基金

電話：03-5453-8030

電子メール：info@beyond-tomorrow.org

ファックス：03-6745-9100

〒150-0046 東京都渋谷区松濤 1-26-18 園ビルディング 1F ※応募書類の送付先は左記ではありません。